

## 画面で見るマニュアル

USB メモリー  
EU3-ST シリーズ

### 【もくじ】

使う.....	2
接続する.....	2
データを読み書きする.....	3
取り外す.....	6
困ったときには.....	7
付録.....	8
仕様.....	8
安全のために.....	9
使用上のご注意.....	10
ハードウェア保証規定.....	12
アフターサービス.....	13
本製品を廃棄する際のご注意.....	15

#### ご注意

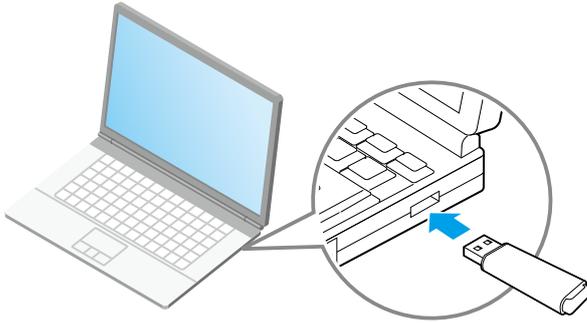
- お買い上げ時のレシート・領収書などは大切に保管してください。  
ご購入年月日の証明になります。詳しくは【[ハードウェア保証規定](#)】(12 ページ)をご覧ください。
- 本製品へ保存されたデータが消失、破損したことによる被害については、弊社はいかなる責任も負いかねます。  
あらかじめご了承ください。
- 本製品のデータの回復作業はお受けしておりません。大切なデータは、他のメディア (BD・DVD やハードディスクなど) へ定期的にバックアップしてください。

[【マニュアルアンケートはこちら】](#)

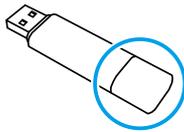
よりよいマニュアル作りのためアンケートにご協力願います。

## 接続する

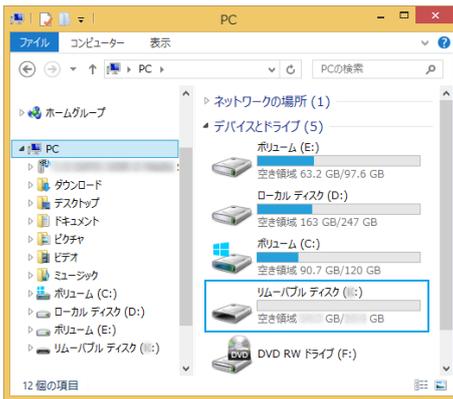
- 1 パソコンの電源を入れる
- 2 キャップを外し、USBポートに挿し込む



外したキャップは本体後部に取り付けできます



- 3 パソコンに自動的に認識される



### Mac OS の場合

デスクトップ上にアイコンが表示されます。



Untitled

※環境により、表示される名前が異なる場合があります。

### 本製品のアイコンが表示されない場合

**【困ったときには】** (7 ページ) をご確認ください。

# データを読み書きする

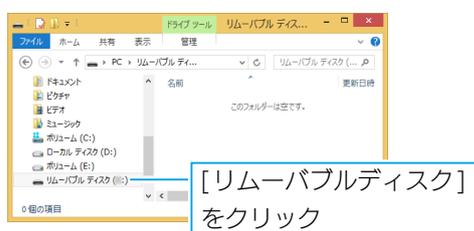
ハードディスクなどと同じように、データの読み書きができます。

## 本製品へのアクセス方法

1



2

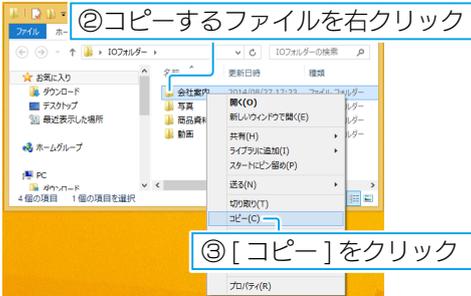
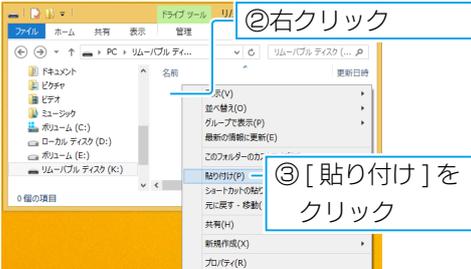


※ Windows 8などでデスクトップ画面を開く場合

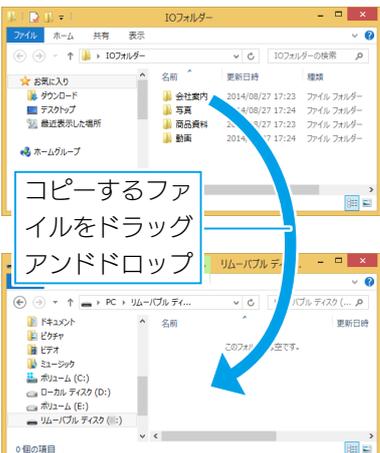


## ファイルのコピー方法

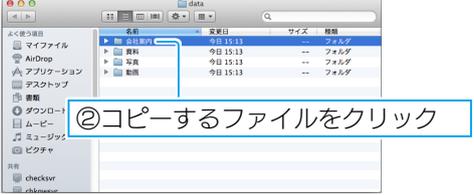
▼「コピー」→「貼り付け」する場合  
(Windows)

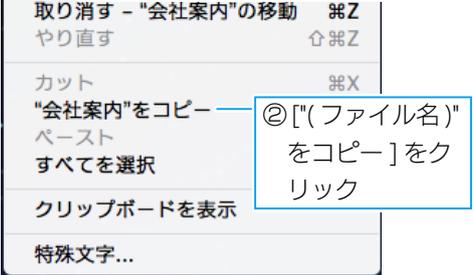
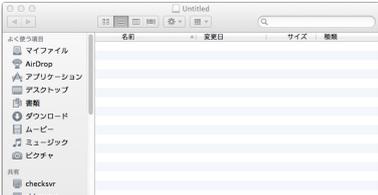
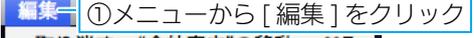
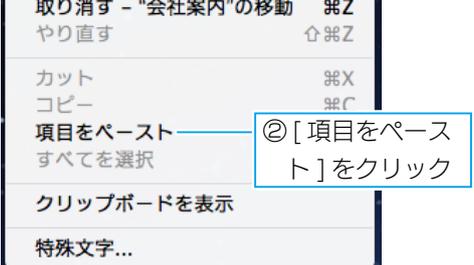
- ①コピーするファイルが保存されているフォルダーを開く  

- ①コピーしたファイルを保存するフォルダーを開く  


▼ドラッグアンドドロップする場合  
(Windows/Mac OS)

- 1 コピーするファイルが保存されているフォルダーを開く
- 2 コピーするファイルを保存するフォルダーを開く
- 3
 

▼「コピー」→「貼り付け」する場合  
(Mac OS)

- ①コピーするファイルが保存されているフォルダーを開く  

- 2
  - ①メニューから [編集] をクリック  

  - ②["(ファイル名)" をコピー] をクリック  

- 3 コピーしたファイルを保存するフォルダーを開く  

- 4
  - ①メニューから [編集] をクリック  

  - ② [項目をペースト] をクリック  


使う  
困ったときには  
付録

## 暗号化ソフトウェア「QuickSecureAES」を使ってみよう！

### ● QuickSecureAES とは？

「QuickSecureAES」は、ドラッグアンドドロップのかんたん操作でファイルを暗号化 / 復元したり、復元不可能な状態でファイルを削除したりできるセキュリティソフトウェアです。

データを安全に持ち運ぶことができ、万一の紛失や盗難時にデータを読み取られる心配がありません。

- ・ パソコンへインストールする必要があるため、簡単にご利用いただけます。
- ・ 任意のファイルを USB メモリー内に暗号化して保存することができます。  
ファイルにパスワードを設定してデータを保護するため、万一の紛失や盗難時にデータを読み取られる心配がありません。
- ・ 任意のファイルを削除し、ファイル復旧ソフトでも復旧できないようにすることができます。  
USB メモリー紛失時などのデータ流出を防止します。



### ● ダウンロード

以下よりダウンロードしてご利用ください。

<http://www.iodata.jp/r/3968>

※使用方法は「QuickSecureAES」の画面で見るマニュアルをご確認ください。

# 取り外す

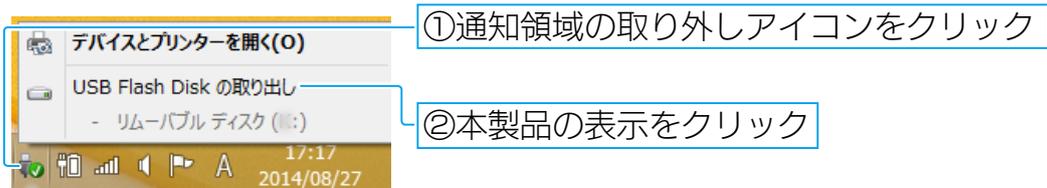
パソコン起動中は、以下の手順で取り外してください。

※パソコンの電源をオフにしてから取り外すときは、以下の手順は不要です。

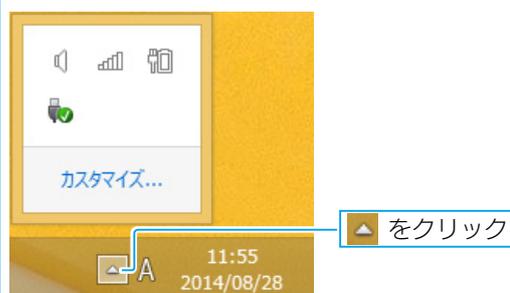
**ご注意：データの読み書き中は、本製品を取り外さない**

データの消失や本製品の故障の原因になります。

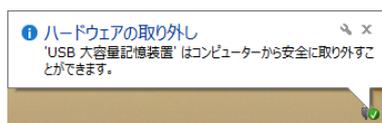
1



通知領域にアイコンがない場合



2 メッセージを確認する



3 本製品を取り外す

Mac OS の場合

1



2 本製品を取り外す

# 困ったときには

使  
つ

困  
つ  
た  
と  
き  
に  
は

付  
録

## ▼ Windows で使用中に

### 本製品のアイコンが表示されない

○本製品をパソコンから取り外し、別の USB ポートに接続してください。

○ [ デバイスマネージャー ] のアイコンを確認してください。

① [ デバイスマネージャー ] を開く

▼ Windows 10 / 8 / RT / Windows Server 2012 R2 / 2012 の場合  
画面左下を右クリックし、 [ デバイスマネージャー ] をクリック

▼ Windows 7 / Windows Server 2008 R2 / 2008 の場合

[ スタート ] → [ コントロールパネル ] → [ ハードウェアとサウンド ] → [ デバイスマネージャー ] の順にクリック

② アイコンを確認する



③ [ ユニバーサル シリアル バスコントローラー ] または [ ほかのデバイス ] で、 [ ! USB 大容量記憶装置 ] と表示されている場合

1) [ デバイスマネージャー ] を開いたまま、本製品を取り外し、 [ ! USB 大容量記憶装置 ] などの表示が消えるか確認

⇒表示が消えた場合は、本製品が誤認識されています。

2) 再度本製品をパソコンに挿し込み、 [ ! USB 大容量記憶装置 ] などの表示を右クリックし、 [ 削除 ] をクリック

3) いったんパソコンから本製品を抜き、再度挿し直す

4) [ コンピューター ] に [ リムーバブルディスク ] アイコンが追加されていることを確認

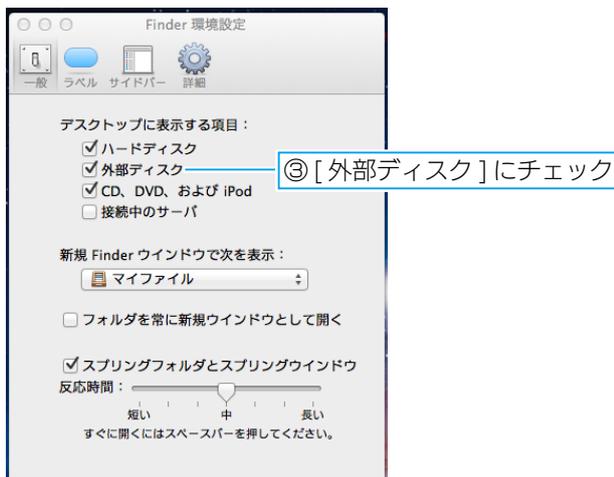
アイコンが表示されてない場合

本製品を他のパソコンにつないでみてください。

## ▼ Mac OS で使用中に

### 本製品が認識されない

Finder の環境設定を確認してください。



## 仕様

対応機種	USB ポートを搭載したパソコン
対応 OS (日本語版)	Windows 10 Windows 8.1 Windows 8 Windows 7 Windows RT 8.1 Windows RT Windows Server 2012 R2 Windows Server 2012 Windows Server 2008 R2 Windows Server 2008 Mac OS X 10.7 ~ 10.10
インターフェイス	USB Specification 3.0 / 2.0 準拠
電源電圧	USB バスパワー / DC +5V
消費電流	450mA (max) 読み書き時
動作環境 / 湿度	0 ~ 40℃ / 10 ~ 90% (結露しないこと)
外形寸法	約 18.4 (W) × 58.2 (D) × 9.4 (H) mm
質量	約 9g
各種取得規格	VCCI ClassB、CE、FCC、RoHS 指令準拠

2015年8月21日時点の情報です。最新情報は、弊社ホームページをご確認ください。

<http://www.iodata.jp/>

使  
う

困  
った  
とき  
には

付  
録

## 安全のために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

### ▼警告および注意表示

	<b>警告</b>	この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことがあります。
	<b>注意</b>	この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

### ▼絵記号の意味

	<b>禁止</b>
	<b>指示を守る</b>



**警告**

-  **本製品を修理・改造・分解しない**  
火災や感電、破裂、やけど、動作不良の原因になります。
-  **本製品をぬらしたり、水気の多い場所で使わない**  
水や洗剤などが本製品にかかると、隙間から浸み込み、火災・感電の原因になります。  
・お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。  
・水の入ったもの（コップ、花びんなど）を上には置かないでください。  
・掃除は必ず乾いた布でおこなってください。  
・万一、本製品がぬれてしまった場合は、絶対に使用しないでください。
-  **本製品を乳幼児の手の届くところに置かない**  
誤って飲み込み、窒息や胃などへの障害の原因になります。  
万一、飲み込んだと思われる場合は、ただちに医師にご相談ください。
-  **煙がでたり、変なにおいや音がしたら、すぐに使うのを止める**  
そのまま使うと火災・感電の原因になります。
-  **故障や異常のまま、つながない**  
本製品に故障や異常がある場合は、必ずつないでいる機器から取り外してください。  
そのまま使うと、火災・感電・故障の原因になります。
-  **接続するコネクタを間違えないようにする**  
接続するコネクタを間違えると、コネクタから発煙したり火災の原因になります。



**注意**

-  **本製品を踏まない**  
破損し、けがの原因になります。特に、小さなお子様にはご注意ください。

## 使用上のご注意

### 【データ保護について】

本製品は精密機器です。突然の故障等の理由によってデータが消失する場合があります。万一に備え、本製品内に保存された重要なデータについては、必ず定期的に「バックアップ」をおこなってください。

本製品または接続製品の保存データの毀損・消失などについて、弊社は一切の責任を負いません。また、弊社が記録内容の修復・復元・複製などを行うこともできません。なお、何らかの原因で本製品にデータ保存ができなかった場合、いかなる理由であっても弊社は一切その責任を負いかねます。

#### [参考] バックアップとは

本製品に保存されたデータを守るために、別の記憶媒体(HDD・BD・DVD など)にデータの複製を作成することです。(データを移動させることは「バックアップ」ではありません。同じデータが2か所にあることを「バックアップ」と言います。)

万一、故障や人為的なミスなどで、一方のデータが失われても、残った方のデータを使えますので安心です。不測の事態に備えるために、必ずバックアップをおこなってください。

- 本製品の読み書き中は、接続中の機器から本製品を取り外さないでください。また、接続中に機器の電源をオフにしたり、リセットしないでください。故障、データ破壊の原因になります。
- OS 起動後に本製品をご利用の機器などに挿してください。本製品を機器に挿したまま機器を起動した場合、OS が起動しなかったり、本製品が正常に認識されない場合があります。
- 本体内部に液体、金属、たばこの煙などの異物が入らないようにしてください。
- 本製品のコネクタ部分や部品面には直接手を触れないでください。静電気が流れ、部品が破壊されるおそれがあります。また、静電気は衣服や人体からも発生するため、本製品の取り付け・取り外しは、スチールキャビネットなどの金属製のものに触れて、静電気を逃がした後でおこなってください。
- 本製品はあらかじめ FAT32 形式でフォーマット済みのため、通常フォーマット(初期化)する必要はなく、そのままお使いいただけます。

使  
っ  
た困  
っ  
た  
と  
き  
に  
は付  
録

- USB ポートに挿しても、まれに認識しない場合があります。その場合は、いったん抜いてから挿し直してください。
- フラッシュメモリーの特徴から、1日に頻繁にデータ書換えをおこなう用途や、長期間のデータ保管を伴う用途、高い信頼性を要求される分野への使用には向きません。
- USB ハブに本製品を接続する場合、ご利用の環境によっては正常に動作しない場合があります。その場合は、パソコン本体の USB ポートに直接挿し込んでください。
- 電力不足となるため、USB インターフェイスを装備したキーボードに本製品を接続してお使いいただけません場合があります。その場合は、パソコン本体の USB ポートに直接挿し込んでください。
- パソコン本体の USB ポートに本製品を接続する際、取り扱いが不便な場合は、USB 延長ケーブルをご利用いただければ、手元で本製品を抜き挿しすることができます。その場合、別途市販の USB 延長ケーブル (A プラグ (オス) ⇔ A プラグ (メス)) をご用意ください。なお、本製品を USB 3.0 でお使いいただく場合は、USB 3.0 に対応した USB 延長ケーブルをご用意ください。
- 本製品は USB 3.0 に対応した USB ポートに接続することで性能を発揮できます。USB 2.0 の USB ポートに接続した場合は、USB 2.0 対応の USB メモリーとして動作し、本製品の性能を最大限発揮することができませんのでご注意ください。
- 本製品は、サスペンド・スタンバイ・スリープなどの省電力モードには対応していません。
- 容量に空きがあるのにファイルを保存できない場合があります。その場合はフォルダーを作成してフォルダー内にファイルを保存してください。

使  
う困  
った  
とき  
には付  
録

# ハードウェア保証規定

1. 添付または弊社ホームページに掲載されている最新の取扱説明書等に記載の内容に従った使用状態で故障した場合には、アフターサービスとしてお買い上げ時より1年間、弊社の判断により同等品へ交換いたします。
  - 送付された旧製品など（記録済みのデータを含む）は返却致しません。
  - お買い上げ日が記載されたレシート等が必要です。
2. 次の場合は交換の対象となりません。
  - 1) 販売店等でのご購入日から保証期間が経過した場合
  - 2) 中古品でご購入された場合
  - 3) 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害およびその他の天災地変、公害または異常電圧等の外部的事情による場合
  - 4) お買い上げ後の輸送、移動時の落下・衝撃等お取扱いが不適当な場合
  - 5) 弊社以外で改造、調整、部品交換等をされた場合
  - 6) 弊社が寿命に達したと判断した場合など、その他弊社が本保証内容の対象外と判断した場合
3. 本製品の故障もしくは使用によって生じた本製品または接続製品内に保存されたデータの毀損・消失等について、弊社は一切の責任を負いません。

重要なデータについては、必ず、定期的にバックアップを取る等の措置を講じてください。また、弊社に故意または重過失のある場合を除き、本製品に関する弊社の損害賠償責任は理由のいかんを問わず製品の価格相当額を限度といたします。

本製品に隠れた瑕疵があった場合は、この約款の規定に関わらず、弊社は無償にて瑕疵のない製品または同等品に交換いたしますが、当該瑕疵に基づく損害賠償責任を負いません。
4. 弊社は、日本国内のみにおいて本保証規定に従った保証を行います。

## アフターサービス

本製品の修理対応、電話やメール等によるサポート対応、ソフトウェアのアップデート対応、本製品がサーバー等のサービスを利用する場合、そのサービスについては、弊社が本製品の生産を完了してから5年間を目途に終了とさせていただきます。ただし状況により、5年以前に各対応を終了する場合があります。

使  
う困  
つ  
た  
と  
き  
に  
は付  
録

## お問い合わせについて

お問い合わせいただく前に、**以下をご確認ください**

- 本紙の「困ったときには」を参照 ([7ページ](#))
- 弊社サポートページのQ&Aを参照  
<http://www.iodata.jp/r/4863>



それでも解決できない場合は、**サポートセンターへ**

**電話：050-3116-3021**

※受付時間 9:00～17:00 月～金曜日(祝祭日をのぞく)

**FAX：076-260-3360**

インターネット：<http://www.iodata.jp/support/>

<ご用意いただく情報>

製品情報(製品名、シリアル番号など)、パソコンや接続機器の情報(型番、OSなど)

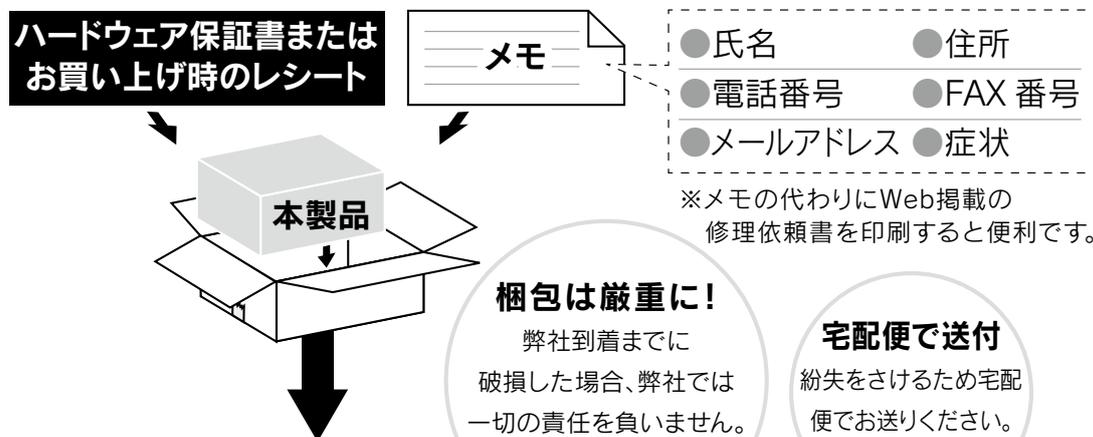
### 個人情報の取り扱いについて

個人情報は、株式会社アイ・オー・データ機器の[プライバシーポリシー](#)に基づき、適切な管理と運用をおこないます。



## 本製品の送付について

本製品が正常に動作しなくなった場合は、以下の要領でお送りください。



〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地  
株式会社 アイ・オー・データ機器 修理センター 宛

- 送料は、発送時はおお客様ご負担、返送時は弊社負担とさせていただきます。
- 内部にデータが入っている製品の場合、厳密な検査のため、内部データは消去されます。何卒、ご了承ください。  
バックアップ可能な場合は、お送りいただく前にバックアップをおこなってください。弊社修理センターではデータの修復はおこなっておりません。
- お客様が貼られたシール等は、失われる場合があります。
- 保証内容については、ハードウェア保証規定に記載されています。
- 本製品をお送りになる前に製品名とシリアル番号(S/N)を控えておいてください。

修理について詳しくは以下をご確認ください。

<http://www.iodata.jp/support/after/>

使  
う困  
っ  
た  
と  
き  
に  
は付  
録

## 本製品を廃棄する際のご注意

- 本製品に記録されたデータは、パソコンにて削除したり、フォーマットするなどの作業をおこなったりしただけでは、特殊なソフトウェアを利用することで、データを復元・再利用できてしまう場合があります。その結果として情報が漏えいしてしまう可能性があります。情報漏えいなどのトラブルを回避するために、データ消去のためのソフトウェアやサービスをご利用いただくことをおすすめします。

弊社製ソフトウェア「DiskRefresher3シリーズ」(別売)を使えば、本製品内のデータを完全に消去し、復旧できないようにできます。

詳しくは弊社ホームページをご覧ください。

<http://www.iodata.jp/product/hdd/soft/diskrefresher3/>

- 本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例にしたがってください。

使  
う困  
った  
とき  
には付  
録

[ 商標について ]

記載されている会社名、製品名等は一般に各社の商標または登録商標です。

[【もくじ】](#) [^](#)